

備前市事務事業評価表

事務事業名	交通障害保険事務	コード	01-04-01-03
		担当課・係	市民課・生活安全係
		担当者	芳田 猛
		電話	0869-64-1876
事業実施期間	昭和47年度～		
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	安全で安心して暮らせるまちづくり	
	小項目(施策)	交通安全	

事業について	
目的 (何のために)	市民の交通事故への備えとして、少ない負担で被害者を支援するだけでなく、保険加入による交通安全意識の高揚を図り、交通事故を減少させる。
対象 (誰・何を対象に)	市に住民登録又は外国人登録のある加入者
内容	保険金は1口480円程度で、保険期間中の交通事故に遭った人を救済する。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
交通傷害保険加入人数	6,119 人	5,290 人	
交通傷害保険給付件数	23 件	38 件	

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	212	国庫補助金等		直接事業費	203	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	2,635	受益者負担		人件費	2,988	受益者負担		人件費		受益者負担	
	市債			市債				市債				
合計	2,847	一般財源等	2,847	合計	3,191	一般財源等	3,191	合計	0	一般財源等	0	

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

必要人員	0.32 人	0.39 人		
結果指標	結果指標名	交通傷害保険加入人数	交通傷害保険加入人数	
	結果指標量	6,119	5,290	
	単位	人	人	
	対前年比	-	86.45%	0.00%
	活動にかかるコスト	2,320,000 円	2,593,400 円	
単位当たりコスト	379 円	490 円		
結果指標	結果指標名	交通傷害保険給付件数	交通傷害保険給付件数	
	結果指標量	23	38	
	単位	件	件	
	対前年比	-	165.22%	0.00%
	活動にかかるコスト	527,000 円	597,600 円	
単位当たりコスト	22,913 円	15,726 円		

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	加入者が交通事故に遭われた時の経済的救済		
成果指標名	交通傷害保険加入率	式又は説明	(交通傷害保険加入人数/H.18.4.1現在の市内人口(41,357人)) × 100
	17年度	18年度	
成果指標量	15	13	
対前年比	-	86.67%	0.00%
到達目標値	20	到達目標年度	平成23年度

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である [関係法令等： 備前市市民交通傷害保障条例]	妥当性評価 <A~E> D 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	市が交通傷害保障制度を設け、交通事故により傷害を受けた者を、少ない保険料負担で救済でき、経済的負担を軽減できるが、民間に類似サービスがあり、市としての役割を見直す必要がある。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input checked="" type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価 <A~E> D 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	事務内容は、保険会社の代行的内容であり、見直しの必要がある。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価 <A~E> E 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	成果は向上する余地があるが、加入者割合を考えると事業廃止も検討する必要がある。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	加入状況や社会情勢を勘案し、平成18年度をもって廃止とした。
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量	結果指標量

総合評価	評価区分 <A~E> E
本事業は、昭和43年から長年にわたり実施していたが、加入者数が減少傾向にある状況、保障額などの給付内容並びに、民間保険会社の各種傷害保険の充実状況等から判断し、平成18年度をもって廃止するものとする。	

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果